

問1 昔と比べて魚の生産量が減っている中で、養殖漁業がさかんに行われるようになった一番の理由は何ですか。

問2 標高が高く、夏でもすずしい気候を利用して、キャベツやレタスを育てる農業を何といいますか。

問3 海の中に「いけす」などの施設を作り、魚や海そうを人の手で管理して育てる漁業のことを何といいますか。

問4 「地産地消（ちさんちしょう）」とは、どのようなことですか。

問5 遠洋漁業の生産量が、1970年代から大きく減り続けている主な理由は何ですか。

問6 魚を卵からかえした稚魚などを、いけすなどで大きくなるまで人工的に育てて出荷する漁業を何といいますか。

問7 畜産のなかでも、特に乳牛を飼育し、牛乳やバターなどを生産する仕事を何といいますか。

問8 漁港の近くに「加工工場」があることで、どのような良さがありますか。

問9 農薬や化学肥料にたよらないで行う栽培方法を何といいますか。

問10 牛やぶた、にわとりなどを飼って、肉や牛乳、卵などを生産する仕事を何といいますか。

問11 漁業資源を守るために、国や自治体が行っている「とれる魚の量や期間を制限する」取り組みのことを何といいますか。

問12 人工的に育てた稚魚を、ある程度の大きさになるまで守ってから海や川に放し、自然の中で成長させてからとる漁業のことを何といいますか。

問13 農家が収穫したお米を、市場などを通さずに消費者のもとへ直接送る販売方法を何といいますか。

問14 その土地の気候や風土に合わせて、より育てやすくおいしい農作物の種類を新しく作り出すことを何と言いますか。

問15 林業で、木が十分に育ったあとに、それらを切り出して木材にする作業を何といいますか。

問16 生産者が育てた野菜や果物を、スーパーマーケットなどの間に入るお店を通さずに、お客さんに直接売る場所を何といいますか。

問17 大都市の近くで、消費者の好みに合わせて新鮮な野菜をたくさん作り、トラックを使って素早く届ける農業を何といいますか。

問18 漁港の近くに建てられている、水揚げされた魚を競りにかけるための施設を何といいますか。

問19 長野県や群馬県などの涼しい地域で、夏の涼しい気候をいかしてキャベツやレタスを育てる主な目的は何ですか。

問20 農家が「産地直送」でお客さんに商品を届けることで、どのような良いことがありますか。